



あかるく元気な子 だれにも親切な子 しつかり考える子 ことばを大切にする子



自分にもできることがある！ 自分にしかできないことがある！

○今日、小中音楽会がありました。一番さいしょだったのですごくきんちょうしていました。そして、ぶたいに立ったとき、心ぞうがドキドキと言っていました。

リコーダーをふきはじめたときに、最後までがんばろうと思いました。理由は、みんながんばっているからです。自分もがんばらなきゃと思いました。だから、最後までがんばれました。

最後までいけたときうれしかったです。『まじよのたつきゅうびん』は、リズムがはやいのでたいへんです。『ひまわりのやくそく』も、リズムがはやいところもあるしゆっくりなところもあるのでむずかしいです。

みんなで力を合わせられたなと思いました。まだ、県の音楽会もあるのでがんばりたいです。(4年児童)



本校3～6年生の児童が、9日(水)の五條市立小中学校音楽会に参加しました。トップバッターという順番に緊張しながらも、みんなの心を合わせて見事に演奏することができました。

それまでの練習の様子を見ると、9月の運動会と同じように、「大丈夫かな？」と心配していた初めのころから、「なかなか上手になってきたやん。」の時期を経て、最後「すごい！」へと変わっていきました。運動会での経験が、こうして次の活動へと着実に結び付いているのだなあと、とてもうれしく思いました。

次の日、ある人から、「阿太小学校の演奏は、本当によくまとまっていて、とても上手で感動しました。」という言葉いただきました。

3年生から6年生までという、年齢も発達段階も違う子どもたちです。でも、下の学年の子どもたちは、「自分にもできることがある」と考えて、上の学年の子どもたちは、「自分にしかできないことがある」という思いをもって、それぞれが与えられた楽器を懸命に演奏した結果が、会場で聴いておられた方々の胸を打ったのではないのでしょうか。

1, 2年生の子どもたちも、自分たちにできることは何かを考えてくれたのでしょう。3～6年生が学校を出発するときに、2階の窓から顔を出して、「行ってらっしゃい、がんばれー！」と大きな声で応援してくれたことは、とてもうれしいことでした。

ただ、この日体調不良で欠席した児童がいて、いつも聞こえていた音が一つ聞こえなかったのは残念なことでした。でも、チャンスはもう一度あります。次回25日(金)の県小学校音楽発表会では、32人全員の心を合わせた演奏が会場いっぱいに響き渡ることでしょう。

